

本時のねらい

- ・文章題において、問題場面を図に表し、数量の増減に着目して、立式することができる。
- ・増減する数量に着目し、「まとめて考える」という考え方の良さに気づき、活用しようとする。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- (導入) 「ふえたり、へったりクイズ」を行い、増減時の言葉の表現を確認する。⇒クイズ感覚で、言葉を確認することができる。
- (展開①) 発表ノートを活用して、問題文に合う図を作る。⇒増減の分かるブロックを操作し、図を作ることができる。
- (展開②) スクリーンを活用して、作った図を全体で共有する。⇒図の違いや、立式の違いに着目することができる。
- (まとめ) 発表ノートを活用して、類似問題を解く。⇒発表ノートに、図、式、答えを書くことで、ふりかえりを行う。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Sky Menu Classの発表ノート
- ・スクリーン
- ・プロジェクター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○「ふえたり、へったりクイズ」を行う。 ・言葉に着目し、増えること、減ること、どちらを表しているかを考え、操作する。	・「ふえたり、へったりクイズ」では、児童一人ひとりが、どの言葉が「増える」「減る」になるのかを簡単に区別することができ、授業者が児童の理解度を瞬時に見極めることができる。
展開 (30分)	○めあてを確認する。 「数の変化を図でまとめて考えよう！」 ○問題文に合う図を考える。 ・ブロックと矢印を動かして、問題文に合う図を作る。 ・増減の違いに気をつけながら、作成した図をもとに立式する。 ○作成した図を共有しながら、説明する。 ・自分の考えた方法を図や式を使って、発表する。 ・友だちの発表を自分の図と比較しながら聞く。	・ブロックと矢印を自由自在に動かせることで、児童が試行錯誤しやすくなった。ブロック等はSky Menu Classの素材置き場から必要なものを取り出して活用。  ・作成した図をスクリーンに映すことで、全体で共有しながら、友だちとの違いを比べることができる。
まとめ (10分)	○学んだことを活かして類似問題を解くことで、学習内容をふりかえる。	・発表ノートに類似問題の図、式、答えを書き、提出させることで、ふりかえりを行う。

1人1台端末を活用した活動の様子



「ふえたり、へったりクイズ」の答え合わせを行っている場面



問題文に合う図や式を考えている場面



本時のまとめとして、類似問題に取り組んでいる場面

児童生徒の反応や変容

- ・まとまったブロックを自在に動かせることで、児童が試行錯誤しながら見やすい図を作成することができた。
- ・スクリーンに映し、全員で共有することで、自分の図との違いを個々で確認でき、修正することもできた。
- ・類似問題を2枚用意しておくことで、早く解けた児童にとっても、学習意欲の向上につながった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・導入の「ふえたり、へったりクイズ」のように、個別に取り組んでいる状況を授業者が端末上で把握することで、苦手な子にも自信をもって発表させることができる。
- ・繰り返しブロック操作を行うことで、思考ツールとして活用できておりノートに自分の考えを書くことにつながっている。